

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（2020年2月実施）

事業所名 グリーンヒルキッズゆりのき台

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	利用定員10名に対し、指導訓練室等のスペースが58.3㎡あり、県の基準を満たしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1	0	基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	0	適切になされている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	0	職員全員で利用者の思いの寄り添う支援の確認をし、振り返りをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	保護者アンケートを実施し、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	1	6	法人ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	0	第三者外部評価は行ってない。第三者による外部評価については検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	毎月1回全職員の定例研修、必要に応じて随時研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	6か月ごとにモニタリングを行い、保護者との連絡調整のうえ、放課後等デイサービス計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	0	県のアセスメント様式を参考にしながら、事業所でのアセスメント様式を作成使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	毎月、次月の活動プログラムを全職員で検討し、担当を決め、さらに細かいプログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	個々の特性に対応した活動プログラムを検討し地域との交流が図れるプログラムにも重点を置いている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0	それぞれの利用児童の状況に応じて個別に課題を設定してしえ4んしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	個別・集団の活動を毎日取り入れ、計画に明記している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	毎日、支援開始前には、全員で打合せを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	毎日、支援終了後には、一日の支援の振り返りを行い翌日の支援につなげている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	支援計画に応じた支援に関して個々に詳しく記録をとり、次の支援に生かしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	6か月ごとのモニタリングを行い、計画の見直しに反映させている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	7	0	0	基本活動を2～3項目組み合わせ合わせて支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	管理者・児童発達支援管理者が参加、適時児童指導員も加わり子どもの状況を把握している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	0	0	情報共有を好まない学校もあるが、ほとんどの市内の学校は情報共有・連絡調整を行えている。さらにより良い連携が図れるよう学校側にも要望したい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	7	医療的ケアを必要とする児童はいない。日常的な通院は、保護者から状況報告を受けている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	0	入学時には、関係機関から情報をいただき支援に生かしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	7	まだ、障害福祉サービスへ移行する該当児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	0	適時、児童に関する相談をしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	0	0	当法人のイベントで学童の児童と交流したり、月1度文化伝承館で近隣の児童と交流している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	0	0	法人として参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	保護者からの困りごと相談に対応して、子どもの課題を確認し共通理解を図っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	0	0	個別の相談を受けることが多く、保護者のメンタル面のサポートに努めている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	保護者からの相談には、24時間体制で対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	0	月1回父母の会を開催し、保護者同士の連携作りに取り組んでいる。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	苦情への対応は『いち早く』を基本に行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	法人の会報(月4回)事業所からのお知らせ(月1回)を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	研修での周知を行い、十分に注意を払って対処している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	児童の特質をふまえて、個別にはいりよすることに努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	0	0	法人が開催している行事に参加し、共に交流している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	マニュアルは作成し、職員間では周知しているが、保護者は契約時の説明だけなので、周知されていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	毎月1回避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	職員研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	0	7	身体拘束に該当する児童はない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	7	保護者に食物アレルギー確認書に記入してもらい対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	ヒヤリハットの作成を行い、危険性を再確認し、支援に生かしている。